

# 釣りの随想：⑥

## チヌの夜釣り

### 大漁であったが

#### シラ波に遭難(II)

浜田広信 (植田)

趣味

とにかく西の病院前の山陰まで避難せねばならぬ。道具を片付けて体を低くするように私が注意し、まず南の病院前の焼け船(船が焼け甲板だけ出している)まで一気に漕ぎ着けた。そして、一休みして少し間をみて西の病院の山陰に着いた。そこには養殖の牡蠣屋が小港を造り舟をつないでいる。それへ入り込んで避難は成功した。

こうを持っているが水がない。病院前に一軒屋があり「あそこで水をもらってくる」と言ってお逃げ出した。続いて私も行ったところが、その家の主婦が「この大風に出た陰とはいえ、外で火をたくのは危険だから私の家で炊きなさい」と親切に言ってくれた。それで飯を炊かしてもらうことになった。



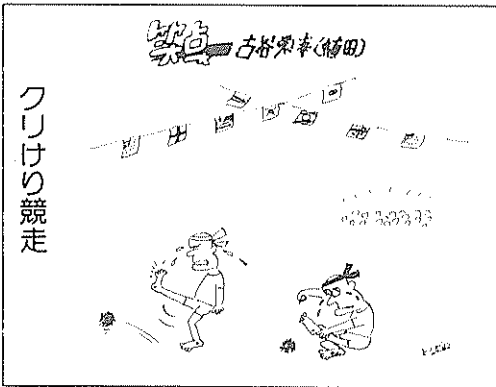
「ほのほの広場」に、あなたの身の回りのほのほのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南門市大浦甲三〇一 南門市役所内広報委員会宛。

院の事務長の長崎さんと関係があるのでは」と問うたところ、「私の主人のおじで、その人の世話で来ている」とのこと。長崎さんとは先年、高知水上警察署長をしていたところ、私も部下で世話になったことがあると話したところ、主婦と意気投合。安心感ができたか、私らの素性が分かったのか安心して主婦は「主人と小学校へ行っている子供と三人で、これから弁当を持って長浜の畑へ出て行く。家へ布団を敷いておくから昼寝でもして夕方帰りなさい。風もやむ」とたいへん親切にしてくれた。

今朝の風はシラと言う突風だ。昔から帆船乗りが怖かった。「土佐で怖いのは横目かシラか」と言っていた。土佐沖は須崎以外に避難港がない(今は各地に出来た)。シラと言うのは、急に西風が吹き白波が出来るのでシラと名付けたものと思う。横目は今日の司法刑事で、藩政時代それに見込まれたら最後軽く島流し、運が悪ければ死刑だ。話は妙なところへ飛んだが、島流しにもならず死刑にもならず意外なもてなしを受け、大漁し無事家に帰った。

今回で、釣りの随想シリーズは終わります。楽しいお便りを寄せていただいた浜田広信さん、本当にありがとうございました。



ご家庭で話し合っただけで答えてください。答えはこの広報に出ています。

■もんだい・十市農協園芸部では、ぶどう○○○○を試作しています。

■しめきり・10月15日

■あて先・〒783 南門市大浦甲三〇一 南門市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から抽選で五人に図書券を進呈。

第110回当選者発表(敬称略)

(応募総数50通)

■答え・クイズ

■当選者五人

小松里美(東崎)

高島美知子(大浦)

武市明子(大浦)

土居夕香(里改田)

溝淵由美子(大浦)